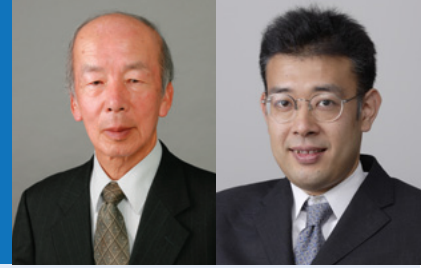


研究室紹介

ストラテジック・デザイン研究室
狼嘉彰教授 浦郷正隆准教授



狼 嘉彰 教授

研究科委員長、元・宇宙開発事業団技術研究本部研究総監／専門分野：大規模宇宙システムのデザインとマネジメント、戦略的システムエンジニアリング

浦郷 正隆 准教授

元・東京工業大学 助教
専門分野：「大規模・複雑システムのモデリング・シミュレーション」

TOPIC

始める前の戦略的デザイン

狼・浦郷研究グループは、‘小さなメルティング・ポット’である。専門分野の垣根、文化の違い、世代間のギャップを超えて、活気に満ちた協生社会をデザインする。人体の筋骨格系マルチボディ解析、複雑システム機能分割の独立評価手法の研究、ランデブドッキング用航法システムの最適化に関する研究、海上を利用した水平離発着宇宙往還機デザイン、不定形剛体の画像処理による形状計測、人体動作の運動性の関する解析的・実験的研究、女性活用が実効性を持つための法政策デザインなど多様なテーマを各人が取り組んでいる。バンクー

バーのブリティッシュコロンビア大学の研究室を訪れ、意見交換も行った。

宇宙往還機デザインについて、すこし紹介する。宇宙旅行を観光ビジネスとして実現するために、観光ビジネスの提供内容を考察している。宇宙とみなされる高度100Kmへの到達、10分間程度の無重力体験、1週間2フライト、乗客に対する特別な訓練無しの飛行、海上水平発進を想定している。また、宇宙往還機は主要部品を切り離すことなく再飛行できることを想定している。

9月12日および13日には、泊まり込み

の研究室合宿を行い、SDMならではの社会人学生、新卒学生、春学期入学および秋学期入学という仲間が一堂に集った。



慶應義塾大学理工学部による実験機

TOPIC

SDM 研究所研究員・安岡寛道君の研究紹介

安岡君は、SDM 研究科の博士の第1号である。その研究は、企業通貨（ポイント・電子マネー）を用いたビジネスに関するマネジメントと評価方法に関するものである。同君の博士論文は、企業通貨の現在と発展の状況をシステムエンジニアリングの手法（OPM、CACV、ISM、Pugh Selection）等を用いて体系化し、新たなアライアンスのビジネスを設計する指針を与えるものである。

企業通貨の国内市場は、他国に例を見な

いペースで発展し、市場規模は急速に拡大している。例えば、日本政府が地球温暖化対策を目的とする“エコポイント”の原資を負担するほどであり、原資を本格的に負担するのは世界初である。これ以前から、ポイントから電子マネーへ交換、および電子マネー利用によるポイント付与が行われ、相互一体化によって、“循環型経済システム”

を形成して発展している。これらを活用したビジネスを幅広く総合的・体系的にとり

まとめ、評価した同君の論文は、今後の産業界にも寄与するものであろう。情報発信の代表例：週刊エコノミスト・2009年12月8日特大号



▶ <http://mainichi.jp/enta/book/economist/news/20091127org00m020031000c.html>

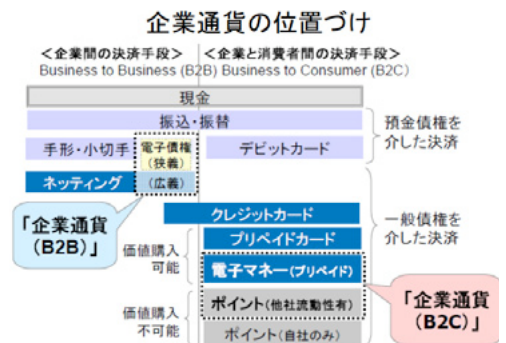
TOPIC

ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）との研究を開始



2005年に締結されたブリティッシュコロンビア大学（カナダ・バンクーバー市）との包括協定の下で、機械工学科クロフト教授が主唱する「人間協調型先端ロボット・インテリジェントシステム・ラボ（CARIS）」と具体的な協力書簡を取り交わし、訪問研

究員の相互派遣を開始した。具体的には、12月中旬から、博士・修士課程各1名の学生がCARIS研究室に滞在し、生体計測とキネシオロジに実験と解析作業に参加する。将来は、不定形物体ハンドリングロボットもテーマに含める予定である。



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学 協生館

Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

* Fax や E-mail での連絡の際には、お手数ですが Subject の先頭に「SDM 研究所」とお書きください。

SDM
System Design and Management